

学校運営協議会 議事録

学校名	大阪府立大阪南視覚支援学校
校長名	郡司 弘子

開催日時	令和5年6月27日(火) 10:00 ~ 11:30
開催場所	府立大阪南視覚支援学校 会議室
出席者(委員)	委員長、副委員長、委員3名
出席者(学校)	校長、教頭2名、事務部長、課長補佐、首席3名、部主事4名、教務部長1名
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度 第1回 府立大阪南視覚支援学校 学校運営協議会 次第(資料1)</li> <li>・ 令和5年度 大阪府立大阪南視覚支援学校 学校運営協議会 委員名簿(資料2)</li> <li>・ 大阪府立大阪南視覚支援学校 学校運営協議会 実施要項(資料3)</li> <li>・ 意見書様式第2号</li> <li>・ 令和5年度 学校経営計画及び学校評価について(資料4)</li> <li>・ 令和5年度 学校要覧 大阪南視覚支援学校</li> </ul>
備考	

議題等(次第順)
<p>【協議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 大阪府立大阪南視覚支援学校 学校運営協議会 実施要項について(教頭)</li> <li>(2) 令和5年度 学校概況について(校長)</li> <li>(3) 令和5年度 学校経営計画及び学校評価について(校長)</li> </ul> <p>【報告題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 使用教科書の採択について(教務主任)</li> <li>(2) 1学期の教育活動について(各部主事)</li> </ul>
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>【協議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 大阪府立大阪南視覚支援学校 学校運営協議会 実施要項について(教頭) 意見、質問: 特になし</li> <li>(2) 令和5年度 学校概況について(校長)</li> <li>(3) 令和5年度 学校経営計画及び学校評価について(校長)</li> </ul> <p>&lt;学校概況について(学校要覧より)&gt;</p> <p>令和5年度幼児児童生徒数は88人。うち、新入生は25人。通学バスは2台で、北コースは前年度より運行範囲を広げた。視覚障がい以外に有する障がい重度化、多様化している。看護師による医療的ケア対応も行っている。昨年度の卒業生の進路は就労以外にも他学科への進学などもある。</p> <p>&lt;学校経営計画及び学校評価について&gt;</p> <p>幼児・児童・生徒の障がいの多様化・重複化に対応し、一人ひとりの教育的ニーズに対応した指導・支援を行うために、「視覚障がいを伴う重複障がい児の教育充実プロジェクト」を企画し、府教育庁</p>

の学校経営推進費を獲得した。視覚障がいに伴う重複障がい児に対応した環境整備と授業研究を通じた専門性の向上に取り組んでいく。

視覚障がいへの理解啓発活動として、地域の小中学校の校長会や特別支援教育担当指導主事会での説明に取り組んでいる。

令和6年度に創立110周年を迎えるにあたり、記念式典の準備を進めている。

専攻科においては、各科の進路先の幅を広げるため、実習先や就職先の開拓を推進する。

委員：障がいが多様化しているとのことだが保護者に対する支援はどのようなことを行っているか。また、他の機関との連携はどのようなことがあるか。

校長：保護者への対応は面談や連絡帳によるやり取りが主で、こまめに情報共有をしている。また、子ども家庭センターや地域の福祉部と関わったり、大阪府の事業を活用し大学からスーパーバイザーを招いて対応をうかがったりなど外部との連携を取っている。

幼小部主事：幼稚部は保護者の送迎もあることから顔を合わせたこまめな情報共有や、OB会と一緒に遊ぶ機会を設けて相談や支援に取り組んでいる。

中学部主事：他の支援学校のリーディングスタッフに相談をし、受けたアドバイスの方針などを保護者にも連絡している。

高等部主事：卒業後の進路について相談や支援をしている。

委員：地域行事は休日に行うことが多いが、山之内の地域とのかかわりとして防災訓練などにも参加をしてもらえたらと思います。

委員：25人の新生が入学してきた要因は何か。

校長：小学校までは地域で過ごして中学から本校に入学する生徒が多い。地域の小学校に対する地道な支援活動が本校への入学につながっていると考えられる。また、集団での活動を求めて他府県から本校に転校する者もいる。

首席：保護者とともに本校をみてもらうことで理解を得られている。

委員：大学でも重複障がい者の実践的な対応を考える研究会があるので、参加して欲しい。

## 【報告題】

### (1) 使用教科書の採択について（教務主任）

来年度の教科書について、各学部で選定を進めている。教科書の形態も様々で小学部から専修部の医学書まで幅広い。

### (2) 1学期の教育活動について

幼小部主事：幼稚部9人、小学部が12人。小学部は1～4年までだが、様々な学年が児童会の委員として取り組んだり、行事を皆で考えたりしている。幼稚部は全員行動で遠足やスポフェスに取り組んだ。

中学部主事：19名在籍。人数が増え、4月当初は不安な様子の子もみられたが、スポフェスを通じて自信を持ち、笑顔も増えて大きく成長できた。多目的室をクールダウンの部屋として活用している。フロアバレーボールは準優勝だったが全国大会に出場する。

高等部主事：14名在籍。民族博物館で楽器体験をした。台湾の恵明盲校とタピオカ試食や盲人卓球などの交流ができた。岡山の修学旅行では地引網など普段ではできない体験で好奇心やチームワークが養えた。

専修部主事：34名在籍。5月の定期テストを終えて、生徒学習の様子等を情報共有し、必要に応じて補習を行うなど、それぞれに応じた支援を行っている。卒業学年に求職活動説明会を開いて、進路における準備や活動などの説明に取り組んだ。7月23日（日）にはオープンスクールを行う。

（3）その他

次回は11月に開催予定。学校経営計画の進捗状況等を報告する。

次回の会議日程

日時	令和5年11月（予定）
場所	大阪府立大阪南視覚支援学校 会議室